

new Shidekashi MONTHLY



5
2009

今月のコンサート

4月19日に初台 The DOORS にて「スプリングカーニバル'09」が行われました。今回は春をテーマにした曲をたくさん歌うそう。新学期もテーマになっていて、高校生になった百加ちゃん、高校生活はすっごく楽しいとのこと。電車の待ち時間が長く感じて、早く学校に行きたいと思うそう。中学三年生になった杏奈ちゃん、まだ実感が無いけれど話を聞いて受験生なんだなと思い始めたそう。玉ちゃんは絵を描くのが好きで、ノートの端にリアルな心臓の絵を描いたとか(^_^;)。新人さん出てきて下さいと紹介され、詩音ちゃんと一緒に沙織ちゃんが登場。「あれ~~~~」とざわめくお客さん(^_^;)。初々しく自己紹介する沙織ちゃんでした。春といえばでは、「モグラ」と沙織ちゃん。ヒョイっと出てくるイメージがあるそう。植物の芽生えが想像できると詩音ちゃん。百加ちゃんは入学式。高校生になったことが嬉しそう。杏奈ちゃんはお花見。SKIのお花見では、3回とも満開の桜でよかったそう。玉ちゃんは毛虫。春といえば虫で、虫といったら毛虫とか。落ちてくるのが怖くて桜の下を通らないようにしているそう。春は暖かくなってくるのが好きと玉ちゃん。虫や蜂が出てくるところが嫌いとのこと。詩音ちゃんも暖かいところ。でも変な人が出てきて声を掛けられるのが怖いとか(^_^;)。気候が変わりやすく、風が強くて髪が乱れることが嫌いと言った沙織ちゃん。好きなところは蝶々や虫が出てきて気持ちいいそう。虫は好きな方でダンゴムシで遊んだりしたとか。新しい友達が出来るのが良いけれど、別れが多くてしみりしちゃうと百加ちゃん。杏奈ちゃんはお花が咲いて景色が可愛い感じが好きとのこと。青いチューリップを見たことがあるらしい。「動物の森」の中でよく咲いていると沙織ちゃん、現実を見て下さいと突っ込まれていました。春の思い出では、家族でサイクリングをしたと杏奈ちゃん。桜がたくさん咲いていて綺麗だったそう。入学式がドキドキだったと沙織ちゃん。SKIに入ったのもドキドキで仲良くできるかなと...(^_^;)。詩音ちゃんは積極的に声を掛けられないタイプらしい。玉ちゃん以外はみんなそうらしく、何で声掛けられないの?と不思議がる玉ちゃん。春の食べ物といえば三色団子と杏奈ちゃん。沙織ちゃんは桜餅、詩音ちゃんはよもぎ餅、玉ちゃんはヒナアラレ、百加ちゃんはチロルチョコとか(^_^;)。春に行きたいところは上野公園と杏奈ちゃん。桜が綺麗と聞いて行きたいそう。鎌倉へ行きたいと沙織ちゃん。桜が綺麗で風情もあるので良いそう。銭洗い弁天へ行っただけ洗ったことがあると百加ちゃん。成果を聞かれて「ないですよ～」と怒っていました。草津の温泉と詩音ちゃん。硫黄がブクブクしているのを見るのが好きとか。家にいたいと百加ちゃん。ぼ~っとしているのが好きとか。玉ちゃんは学校。春休みが長く感じて友達に逢いたいそう。続いて沙織ちゃんのギター演奏に乗って『春が来た』、『春の小川』を熱唱します。「演奏木田沙織、歌は初台少女合唱団でした」と百加ちゃん。新ユニットだったようだ。花梨ちゃんも登場して『花』を披露。花梨ちゃんはこの公演ではゲスト扱いで新鮮な感じがしたらしい。『春になれば』を披露して、台詞の部分が長かったと花梨ちゃん。二十歳になるまでもかなり長いですね(^_^;)。その後も春らしい曲が続いて盛り上がりました。



同日に「森下純菜物語！天使のリボン」が上演されました。りりかちゃん脚本の舞台上、純菜ちゃんがデビューするまでの話を物語にしたそう。幼少時代の純菜ちゃんを杏奈ちゃんが演じます。「やっほっほ～」と恒例の挨拶を(^)。中学の頃からアイドルになるのが夢で、オーディションを受けて見事合格して“こま社長”と出逢ったとのこと。「純菜」という名前は姉が考えてくれて、それに合う名字をプロデューサーさんに考えて頂いて「森下純菜」が誕生したそう。名前を掛けて「今時純な女の子」というキャッチコピーで活動することに。地元の名古屋でキャンペーンをすることになり、家族が駆けつけてくれて嬉しかったとのこと。憧れていたファンクラブ「うさぎ畑」も出来て毎日が夢のように楽しかったそう。「このまま大好きな歌を続けられたらなあ…」というところで暗転して、現在の純菜ちゃんが登場します。三浦恵里子さんに憧れてこの世界に入り、96年の4月1日にCDデビューして今年で13周年を迎えると純菜ちゃん。応援してくれるファンのみなさんのおかげだと思ふとのこと。デビューが決まった時は嬉しくて「やったー！」と思ったそう。初めてのソロライブはドキドキだったけれど、社長が笑顔でうさぎのぬいぐるみを振りながら「楽しんで歌えば大丈夫～」と優しく声を掛けてくれたそう。今でもライブ前に大切にしている言葉とのこと。「あの時の純菜に戻ってその時の様子を見てみましょう」と劇に戻ります。緊張している“純菜ちゃん”の緊張を解そうと、玉ちゃん扮する“こま社長”が登場。良い味出してます(^;)。場面が変わる暗転の度に純菜ちゃんの解説が入る形式で舞台は進みます。初めて社長とお逢いした時は、緊張している純菜ちゃんの横で、付き添いに来てくれた姉が楽しそうにアイドル談義をしていて、このまま姉が気に入られてスカウトされたらどうしようと思っていたとか(^)。姉が「何色にも染まっていない純菜をアイドルに染めて下さい」と言ってくれて、アイドルの夢を叶えられたとのこと。何もかも初めての純菜ちゃんをサポートしてくれた社長に感謝の言葉を述べると、「照れますね～」と“こま社長”。その演技に思わず吹き出す純菜ちゃん(^;)。友達の“はなちゃん(詩音)”に呼ばれて中学時代に戻ります。ただアイドルに憧れるだけだった純菜ちゃん、白いスコートに憧れてテニス部に入ったそう。スコートをフワフワさせながら可愛いなあと思い、この頃から自分好きが始まったとか。わがままを聞いてくれる優しい両親や姉と4人家族の純菜ちゃん。ここで“お茶目なお母さん(玉ちゃん)”が登場、「元気な姿を見ているのが幸せだから、頑張るのよ」と励ましていました。“水野あおいさん(百加)”との出逢いも感謝していると純菜ちゃん、同年代で仲が良くて、これからも大切な親友とのこと。そして舞台は「アイドル・スプリング・カーニバル」へ。楽屋のシーンでは、「お腹空いた～」と騒ぐ“望月菜々ちゃん(りりか)”をしかりつける“吉成圭子ちゃん(優花)”。実話といわれたら信じちゃいそうですね(^;)。そこへ花梨ちゃん扮する“ビビアンズーさん”が訪れ、かたことの日本語であいさつしていました。そして本番のシーンに移り“純菜ちゃん”が2曲、そして“菜々ちゃん”が1曲披露した後に、現在の純菜ちゃんのステージで締めくくられました。生い立ちのお芝居を作っていたら光栄と純菜ちゃん。明確に演じてくれて感謝しているそう。振り返ることが多くて、たくさんの方に支えてもらえて歌えることを改めて感じたとのこと。ありがとうございましたと感謝して、幕がおりました。



同日に木田沙織プロデュース公演「森下純菜ベスト・コレクション」が行われました。1年前はアパレルで働いていたという沙織ちゃん、お洋服が大好きで、今回は森下純菜ちゃんをベストコレクションしちゃおうと、張りきって衣装をチョイスしたとのこと。まずはロックをイメージした衣装で純菜ちゃんが登場します。可愛いイメージがあるので真逆で責めてみたとか。恥ずかしそうに出てくる純菜ちゃん、ステージ上でパンツルックは初めてとのこと。新しい私を見て下さいと純菜ちゃん。ここで二人の出逢いを話そうとして「いつでしたかね～」と沙織ちゃん(^_^;)。初めて出逢ったのは純菜ちゃんのお誕生日ライブでTHE DUETがゲスト出演した時。見た瞬間に美香ちゃんと雰囲気似ていてピッタリと思って嬉しくなったと純菜ちゃん。その後 Hellow で一緒にレッスンをして仲を深めたようだ。作詞については、曲を何回も聞いて降りてきたイメージをバーツと書くと純菜ちゃん。良く探すと同じ言葉があるとか(^_^;)。普段から感じたことをメモするようにしているようだ。沙織ちゃんも今回作詞をしたとのこと『Drive!』と一緒に披露しました。純菜ちゃんが運転免許を取得したことからこの曲を作ったらしい。高速道路で km出したことがあると聞いて驚いたとか。沙織ちゃんも後々取りたいとのことですが、右と左がわからなくなることがあるので止めた方が良いかかと...(^_^;)。次の衣装はうさぎルック。沙織ちゃんが初めて出逢った時のイメージを表現したとか。可愛すぎると沙織ちゃん。純菜ちゃんもうさぎになったみたいで嬉しくて、着替えたくない気分とか。浴衣やウエディングドレスも考えたけれど、早着替えが大変で実現できなかったと沙織ちゃん。レゲエの衣装も想像できなくておもしろいかなと考えたとか。次のドレス姿は、わりといつもに近いとか。でも青色はあまり着ない色で新鮮とのこと。ゲストコーナーで片平妃奈子ちゃんが登場。SKi を卒業した後はダンスや歌のレッスンを受けていて、自分を磨いて基礎を積んでいきたいとのこと。現役時代は毎日のようにレッスンをしていたので、何をしていたのかわからずさみしい症候群になったとか。純菜ちゃんはステージでホニヤニヤンとしていて可愛いと妃奈子ちゃん。心優しい方で尊敬しているそうだ。ボーイズ風の黒のジャケットに帽子を被って純菜ちゃんが登場。妃奈子ちゃんも衣装チェンジして「2変化ぐらい？」と笑います。最近はゴールドにはこだわらなくなったが、とにかく光っているものが好きとのこと。でも魚の光りものはダメらしい(笑)。妃奈子ちゃんも『2度目の恋』を作詞しましたが、嬉しかったのと同時に私でいいのかな?と思ったそうだ。どんな感じの詞を書こうか悩んだと妃奈子ちゃん、オトナの純菜ちゃんを意識して、初めての恋より2度目がいいかな?と思ったとのこと。パールの衣装に着替えてきた純菜ちゃんと一緒に披露しました。終盤になって着替えのペースが速くなり、「早着替えて大変ですね」と純菜ちゃん。6着目もキラキラとした衣装で、キラキラオーラが凄かったと沙織ちゃん。純菜ちゃんの歌は元気が出る曲が多くて、一緒に応援したいそうだ。ファンの方が楽しそうで気持ちよさそうと振ると、息切れが激しく「ちょっと死にそうになるけど...」との声が(^_^;)。愛のパワーが届いてますよと沙織ちゃん。最後の衣装は制服で、「ホント申し訳ございません」と恥ずかしそうに登場する純菜ちゃん。今回は七変化で大変だったけれど、出てくる時のお客さんの笑顔が楽しくて癖になりそうとか。最後は3人とも制服姿に。「私が一番現役に近い」と一言余計な妃奈子ちゃんでした。



同日に「HINAKO 大人への旅立ち」が行われました。2月に SKi ファミリーを卒業した片平妃奈子ちゃんのお別れ会ライブです。『キャッチ&スマイル』を歌いながら妃奈子ちゃんが登場します。「こんにちわ～」とあいさつした妃奈子ちゃんに「こんばんわ～」と声をそろえるお客さんたち(笑)。これで妃奈子ちゃんの緊張は吹き飛んだようだ(^)。 「今日はお別れライブになっていますが、妃奈子らしく元気にいきたい」と意気込みを語ります。最近、自分が小さいときの映像を見たそう。SKi を卒業して掃除をしたら、ビデオがたくさん見つかったらしい。掃除する前の状態を勝手に想像するお客さん(笑)。私のことを知ってもらいたいと、今までを振り返ります。SKi に出会ったのは小学6年生の1月とか。「De-View」の7期生オーディション募集の記事を見て受けたとのこと。2月公演で主力メンバーがたくさん卒業してしまう時期のオーディションでしたが、内容が厳しくて、3次審査まであったそう。高橋Pが推してくれて合格になったらしい。7期生は同年代の娘がいっぱいいいて、すぐに仲良くなってよく走り回っていたそう。当時は猿みたいな子で、「今はどれだけおしとやかになったか...」と妃奈子ちゃん(^)。一斉にツッコミを浴びていました。毎日のようにレッスンに通っていても、踊ることもメンバーも大好きで嫌じゃなかったとのこと。一緒に活動していたOGメンバーもたくさん駆けつけてくれて泣きそうになっているそう。でも最後まで笑顔でいたいと妃奈子ちゃん。実は最近39°の熱が出て、昨日までは声が出なかったらしい。SKi 時代も声がよくひっくり返って、歌うことに恐怖心があったそう。ふとしたタイミングで歌うことが好きになって、今では気づかないうちに外でも鼻歌を歌っていることがあるとか。変なところで歌っていたら注意してくださいと妃奈子ちゃん。近況は、携帯電話のキャンペーンガールをしているとのこと。店頭で元気に携帯を紹介しているので、見かけたら是非契約してくださいと宣伝も(笑)。夢は歌手になることなので、人前でマイクパフォーマンスするのも修行になるようだ。妃奈子のすべてを見せちゃうぞコーナーでは、小四の頃にhiroさんの『AS TIME GOES BY』を歌った音声を流します。すっかり成りきって歌っていますが、今と声が全然違って、「音痴だね～」と妃奈子ちゃん。この頃はめだちがり屋で空気が読めず、ギャルに憧れていたらしい。写真もすべてラッパーのようなポーズで写っているそう。(のポーズ)



メンバーに見せたらみんなに「可愛かったね～」と言われて今は??と思ったとか(笑)。小六から二十歳までの成長期を見てくださって、みなさんが時には厳しく、時には.....して下さってここまで育ったとのこと(^)。最近ダーツにハマっていて、友達とダーツバーに行っているとか。少しずつ上手くなってきたと妃奈子ちゃん。客席に向けてエアダーツを放ちます。続いて歌った曲が『SEASON』と『18才』で、胸に深く刺さったお客さんがいたとか(^;^;)。「元気や勇気を与えられるようなアーティストを目指して、歌やダンスを猛特訓してみなさんの前に現れるように頑張るので忘れないで」と妃奈子ちゃん、肝心なところで噛んでしまいました(^;^;)。みなさんと出会えて嬉しくて、これからもずっとBest Friendでいてくださいと『BEST FRIEND』を披露。最後は『魔法が使えたら...』で盛りあがって終了しました。



4月26日に渋谷 J-POP CAFE J-LIVE フロアにて「Shibuya GIRLS EXPO Vol.1」が行われ、第1部の5組中3番目に「angel♡」が出演しました。「みなさんご存じ SKi ファミリーのユニット」と紹介されて杏奈ちゃんと百加ちゃんが登場します。ポーズBを決めた後、まずは『天使のアイス』を披露。最前に陣取ったファンさんからコールが飛び交います。後方からは「ミントの香りの……」コールも(^^;)。「毎度おさわがせしていま～す」と百加ちゃん、「小川杏奈と京本百加です。二人合わせて angel♡で～す」と二人が元気よくあいさつを。そして「二人のことをよく知ってもらうために」ということで、趣味について話します。「天使百加お願いします」と話を振る杏奈ちゃん。「電車を待つ時間が好きなんです」と百加ちゃん。ゆったりできるから好きだとか。待っている時間はポーっとしたり人間観察をしているらしい。「今までおもしろかったことはありましたか？」と聞かれ、開く方と違うドアで待っている人がいたとか。「私もよくやるんで一緒だぁ」と百加ちゃん(^^;)。杏奈ちゃんは「PAごっこ」が好きだとか。そういえば妃奈子ちゃんのお別れ会でその姿を見かけましたね。「曲を聴いていて、どうしても時間がないときに、ぶちっと切るのが嫌いなのでフェードアウトしたりするんですよ」と杏奈ちゃん。百加ちゃんも今度やってみてくださいと勧められて、「じゃあ、今度やってみます」と百加ちゃん。いつかその姿を見かける時が来るかもしれませんね。でも、盛り上がるころの手前でフェードアウトはやめてね(^)。angel♡は活動を始めて間もないけど、やりたいことがたくさんあります」と杏奈ちゃん。その一つが発表されます。「家庭で動かなくなった LOVE、壊れかけた LOVE、どんな LOVE でも無料で回収しま～す」と、まるで廃品回収みたいです(^^;)。「そして angel♡が新しい LOVE をみなさんにプレゼントしま～す」と二人が言ったところで『LOVE x 2』のイントロがかかり始まります。なるほど、そういうことでしたか。最初のジャンケンも百加ちゃん。3連敗したお客さんがいたとか。最後のジャンケンも杏奈ちゃんとでした。「私たちの LOVE は届きましたかぁ」と杏奈ちゃん。届いたけれど、「足りな～い」との声が飛び交います(笑)。「これからまだありますので……」と杏奈ちゃん。ここで「私たちが応援している SKi ファミリーのライブの告知をします」と杏奈ちゃん。応援しているのはお客さんたちなんじゃあ(^^;)。百加ちゃんから5月5日のライブの告知。6日のライブの告知が杏奈ちゃんからありました。「ぜひ来てくださいね～」と百加ちゃん。杏奈ちゃんから「続いてラストの曲です」に客席からお決まりの「え～～」と「今来たばかり～」が(^^;)。ここで「angel♡って3回言うとすごく幸せになれるんですよ」と百加ちゃん。みんなで「angel♡!angel♡!angel♡!」と唱和します。そして『Very Happy』を披露して「angel♡」の回は終了しました。その後、5組目が終わったところで最後に全員揃って出演順に1組ずつあいさつがありました。「angel♡」では百加ちゃんが「いつもとMCを変えておもしろくしてみたんですけどどうでしたか？」と客席に振ると、「おもしろかったよ」との声が挙がります。杏奈ちゃんからは「全くそのとおりで応援してください」だとか。次回の「Shibuya GIRLS EXPO」は、6月14日(日)とのことですが、その日はすでに SKi ファミリーのライブがあるんで出演はないみたいですね。終了後は物販です。また写真が新しくなっていたようだ(^^;)。今回は購入すると「 さんへ」とサインを入れてくれましたが、名前を聞かれずに書いてもらったお客さんが続出したらしい。

今月のるかすまいか

4月17～19日に荻窪メガボックスシアターにて～HIROSE PROJECT LIVE vol.6～「明日の僕に出会うため」が5公演が行われました。Aチーム、Bチームとキャストを割り振り、るかびょん・さりかちゃん・智美ちゃん・美沙ちゃん・まなちゃん・トーコちゃんといったSMaRT with RUKAメンバー及び、ヒロセプロジェクト(以下ヒロプロ)のお芝居をこれまでも観覧されている方はよくご存知のヒロプロ所属タレント陣に加え、オーディションで選ばれた方々で構成されており、殆どの役がダブルキャストになっています。るかびょん(Aチーム)とさりかちゃん(Bチーム)、そしてシングルキャストの藤田秀幸さんが主演を務めます。毎日の生活に追われる、人の良さそうな大人の男性空野フジオ(藤田さん)が、魔法の国の王子によって、王子の試験課題である「誰かを魔法で幸せにすること」の対象になり、かつての夢だったアイドルになるところから物語が始まる。フジオが変身したのは可愛らしさに加えてダンスと歌の能力も兼ね備えた女の子、空野カナタ(るかびょん&さりかちゃん)。芸能事務所にスカウトされ、ヴォーカル・ダンスユニット「Check-Check-Girls(CCG)」に所属します。レッスンする毎日は楽しく、レコード会社の面々も注目するライヴイベントへの出場も決定した。そうした生活の中で、カナタは事務所の仲間たちが努力し、またその努力が報われず悩んだりする姿に触れることで、自分が本当になりたかったものは何か、アイドルだったのかどうかを考える。再び前に現れた王子とその側近に、あと少し(カナタになってから1ヶ月)で魔法が解けてフジオに戻ることを知らされたカナタは、ライヴイベントに向けて事務所の仲間をまとめ、皆の努力が成果として表れるように気を配り、イベントでのパフォーマンスを成功させるが、その後忽然と姿を消す。姿を消したカナタを不思議に思いつつも、彼女によってさらにステップアップし、さらなる努力に励む事務所のメンバーを支えるスタッフの中にフジオの姿があった。幼少の頃の漠然とした夢・アイドルになるということは叶わなかったが、フジオは本当に自分のやりたいこと(夢)に出会うことが出来たのだ。70分という公演時間の中に笑いやかなさ・前向きな気分を盛り込んだ小さい子供から大人の世代まで楽しめるお芝居でした。

4月17・18日の夜の公演終了後には出演者によるトークライブとSMaRT with RUKAのミニライブが行われました。また、18日は舞香ね～さんと竹森茜さんが司会を勤め、藤田秀幸さん・イキカズマさん・高橋雄祐さんの3名が女装して登場したのに加えて、ウサギの耳を付けた瑠偉くんが出演。モデルの歩行スタイルで男性チームがはけると、SMaRT with RUKAのミニライブに突入。るかびょんとさりかちゃんのユニットである「こすもす」、ルカスマ Jr.に美沙ちゃんとトーコちゃんを加えたユニットに続き、最後はSMaRT with RUKAが登場して歌い踊るという1000円にしては贅沢なライブでした。このミニライブをもって、美沙ちゃんとトーコちゃんが受験のためしばらく活動を休止ということもあり、大変盛り上がってしまいました。でも、5月17日の『ルカスマ的癒しスポット散策&まなバースデーイベント』にはちゃっかり参加ということで、ファンの皆さんは良かったですね。なお、17・18日はミニライブ終了後に物販が行われ、千秋楽の19日の公演終了後は出演者が使った小道具のオークションも実施されました。

ちいさなしでかし

4月27日に八重洲ブックセンター本店8階ギャラリーにて、「地方産業とこだわりの国産品」パネルディスカッションが行われ、ディスカッションの前にTHE DUETによる日本の農業を応援するスペシャルライブが開催されました。入場時には美香ちゃんと沙織ちゃんがオリーブ茶を来場者に配布を。この度THE DUETが、オリーブのキャンペーンソングを担当することになったそうだ。オリーブの花言葉は「平和と知恵」との説明があって『オリーブの樹の下で』を披露します。香川県の小豆島が日本では唯一の産地らしい。そこで採れたオリーブ油でチョコレートやお菓子を初め、石鹸や食用&美容のオイル等たくさんの商品開発が進んでいるそうだ。最後に『THE WATER IS WIDE』を披露してライブは終了。その後、HONDAの耕耘機の紹介などにも参加していました。藤巻幸夫さんをはじめ、たくさんの著名人が参加したパネルディスカッションでは、国産品の魅力を再認識するべきだと感じたようだ。最後に物販も行われ、CD購入者にサインなどをしていたようだ。って、オリーブのキャンペーンソングはいつ出るのかな？

5月2日に六本木ミッドタウン・タワー内のUSEN Oスタジオにて「勝ち抜き!アイドル天国!!ヌキ天」の公開収録が行われ、京本百加ちゃんが出演しました。この番組はGyaOで配信されていて、アイドルのタマゴたちがメジャーを目指してパフォーマンスを披露、課題を克服して4週勝ち抜くとヌキ天クイーンの称号が与えられ、CDデビューやグラビアDVDリリース・GyaO番組レギュラー出演など、メジャーなアイドルとしての強力なバックアップが入るといふもの。今回初挑戦した百加ちゃん、出番の前には上を向いたり小刻みにジャンプしていたりとかかなり緊張していたようだ。この模様は5月27日にオンエアされるそうだ。要チェックですね。

えりのあ便り

4月17日に三ノ輪福祉センター1階エントランスにて行われた「みのわ音楽祭階段コンサート」にえりのあちゃんが出演しました。この三ノ輪福祉センターが15周年を迎え、同居する老人ホームやデイサービスに通うお年寄りの方と一緒に祝う音楽祭です。えりのあちゃん自身も介護のお仕事をしていて、お爺ちゃんお婆ちゃんから戦争の体験の話など教科書で勉強したことではわからないことをたくさん話してもらったとのこと。その思いをお爺ちゃんお婆ちゃんの代わりに歌にして伝えたいと『祈り』と『てつお』を披露します。実際に戦争を体験したお年寄りの方もいて、涙ながらに聴いていました。えりのあちゃんも涙をこらえながら歌います。『さみしい時には』では、恒例のグーパー体操を。今度は一転して笑いに包まれる会場でした。今回台東区のケーブルテレビの取材も入っていて、GW中にオンエアされているようです。



4月25・26日にTSUTAYA 400号西那須野店にてえりのあインスタライブが行われました。最近リニューアルしたばかりでCDに本やレンタルコーナーなどが一緒になってかなり広い店舗です。ライブが行われる場所はどこかな?と店の中を見渡してもなかなか見つかりません。店内を彷徨っていると一番奥でチラシを持っている店員さんを発見。そこから入った部屋の中で行われます(^_^;)。ここは元倉庫だったそうで、店内から区画されたインスタライブとなりました。しかも初日は激しい雨が降っていて、お客さんもまばらです。すっかり身内ライブ状態になっていたような。その分アットホームな雰囲気で行われました。翌日は天気も良く、たくさんの方が訪れたらしい。また、現在えりのあキャップを制作中とのことで、いち早く被っていたえりのあちゃん、みんなから「可愛い」と誉められて嬉しそうでした。こちら売り上げの一部がえりのあ基金に入るとのことです。



4月29日に大田原市のいわいやで「えりのあバースデーパーティー」が行われました。「明日で二十歳になります」とえりのあちゃん。何回目の二十歳かな(笑)。「今日は何を歌うか決めてないのでグダグダになるかも」と言うのと、いつものこととスタッフからツッコミが(^_^;)。「今回は公開練習」という声もあったようだ。まずは新曲の『Look at Me』を披露。まだサビしか決まっていようですが、お客さんの手拍子に辞められなくなったと、この会場に来てから書いたという詩を付けてフルコーラスで歌ってくれました。えりのあちゃんには珍しい恋愛ソングで、明るく可愛らしい曲になっていました。歌詞も曲もこれから変わるかもとのことで、今日聴けたのは貴重ですね。次はちゃんとした歌をと、『そばにいて』を披露。この曲を作ったきっかけのエピソードも聴きました。もう1曲作りかけの曲をサビだけ披露。「子供たちは一生懸命頑張っているので急かさないで」という気持ちを詩にしたとのこと。しっとりとしたバラードで、こちらも完成が待ち遠しいですね。一転して元気な曲で『いいんだよ』を披露。歌詞の解説もあって、会場全体で歌って盛り上がります。今回はアルバムに入っていない曲をたくさん歌おうということで、続いては『あじゃーにー』を披露。マラソンランナーのあじゃーにさんの応援歌として作った曲で、実際走っているところでキーボードを出して歌おうとしたら警官に止められたことがあるとか(^_^;)。練習してなかったとのことでつかえる場面もあり、「これじゃ骨折しちゃうよ～」と自分で突っ込むえりのあちゃんでした。『愛しき人へ』は亡くなったお爺ちゃんへの思いを込めて作った曲で、感情が溢れて涙ぐんでいました。こうして活動できるのも周りで支えてくれる方のおかげとえりのあちゃん。続いては小さい頃にいろいろ見てもらった病院の先生への思いを歌った『とっこ先生』を披露。先生の優しさが伝わってくる曲ですね。終盤は『さみしい時には』で盛り上がります。グーパー体操もすっかりベテランのファンさんたち。最後に『肩と肩を合わせて』を披露。「これからも福祉と歌に頑張ってください」とえりのあちゃん。着うたも入ったとのことで、こちら要チェックですね。子供たちから花束を贈られて嬉しそうなおえりのあちゃん。みんなで『Happy Birthday』を歌ってえりのあちゃんのお誕生日を祝いました。



